

氣学体験談

鎌ヶ谷支部 太田 光子 支部長（九紫火性）

私が氣学と出合ったのは平成二年九月のことでした。

その前の年、船橋の知り合いの社長より「事務員が辞めて人手が足りなくて困っている。手伝ってくれないか?」とのお誘いを頂きました。丁度、子供も社会人となり、これからは「自分自身のために生きて行きたいなあ」と思っていた矢先のことでしたので、お願ひすることにしました。

そして平成二年九月（年盤・月盤 一白中宮）社長から折角の連休だから御夫婦で祐氣採りに行つて来ては?とのお誘いを頂きました。

行き先は祐助に「滝の湯ホテル」の広告が出ているのでそちらに予約する様に、そしてお水採りは山形支社の長瀬支社長に尋ねなさい、と言われました。

私達は一泊で帰つて来れば良いものを折角だから蔵王にも行こうと二泊してお水採りもしてルンルンで帰つてきました。

その数日後、前会長が山形支社にいらしたそうです。名刺を渡して帰つて来ましたので、長瀬支社長が千葉の人が訪ねて来られましたがどう考へても方位がおかしいと前会長におつ

しゃつたそうです。

その数日後、事務所から主人に電話がありまして、山形から汲んで来た水はすぐ捨てる様に、そして説明したいことがあるので時間を作つて事務所に来る様に、とのことでした。

私は慌てて事務所に伺い、そして前会長より祐氣散歩の指導をして頂きました。

どんな効果があるのか？等、始めは分かりませんでしたが十二日間、一日も休まず散歩を続けることは私の精神力を強くする、素晴らしいことだとの信念の元に必死で祐氣散歩を続けました。

そんな時、前会長から来年春に新しい教室が始まるので良かつたら受講しませんか？とのお誘いを頂きました。私は己の無知のためにわざわざ暗剣殺に行つた自分が許せなくて「絶対勉強しよう」と教室に入れて頂きまして今に至っております。

そして平成十四年、子供が家を建てたいと知祐会に設計をお願いして、祐構相の家を建てることが出来ました。基礎に数ヶ所のパイプを入れて頂き地気上昇が出来、張りの床下の空気抜き等、高等科でお勉強させていただきましたことが実践出来て嬉しい限りです。

子供の建築中に幾度も幾度も前会長と現会長が観に来て下さいました。その頃同じ埼玉に大きな家が建築中だったそうです。

子供が「心ばかりの御礼」をお渡ししようとすると「通り道に寄つただけだよ。子供におやつでも買ってあげなさい」とお帰りになられたそうです。

前会長のお優しい「心くばり」に今でも涙が出る程、感謝申し上げております。

家を建てた時、小学二年生だった孫も大学四年生になり、就職も内定して家族四人健康で過ごさせて頂いておりますことに感謝申し上げております。

私も祐氣旅行と称して海外旅行にも随分行きましたが、ここ数年間は次元層に凝つております。

私はこれからも健康でいられる限り、皆様と御一緒にお勉強させて頂きたいと願つておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十八年七月二十四日